

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	構造工学論文集編集小委員会	主 査 名：山田聖志 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会	委員長名：中島正愛
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・1 編につき 3 名による査読付き論文集『構造工学論文集』を毎年 1 回刊行し、登載論文を中心としたシンポジウムを開催することにより、産・官・学、各界の研究者・技術者に学术交流・技術交流の場を提供し、構造工学の一層の発展を図ることを目的にする。</p> <p>2009 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・査読付き論文集『構造工学論文集』Vol.56B の刊行 ・第 55 回構造工学シンポジウムの開催 (論文集掲載論文の発表講演および討議、特別講演会、建築・土木合同パネルディスカッション) 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 (構造工学にかかわるあらゆる分野が論文の対象となるため、各運営委員会主査を委員に配するなどして、分野構成には特に考慮している)。	
	主査 山田 聖志 (豊橋技術科学大学) 幹事 楠 浩一 (横浜国立大学) 吹田啓一郎 (京都大学) 委員 中井 正一 (千葉大学) 河井 宏允 (京都大学) 勅使川原正臣 (名古屋大学) 西山 峰広 (京都大学) 福元 敏之 (鹿島建設) 森脇登美夫 (特殊構工法計画研究所) 瀧口 克己 (東京工業大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・坂田 弘安 (東京工業大学) ・飛田 潤 (名古屋大学) ・小河 利行 (東京工業大学) ・高田 毅士 (東京大学) ・緑川 光正 (北海道大学) ・壁谷澤寿海 (東京大学) ・福和 伸夫 (名古屋大学) ・宮澤 健二 (工学院大学) ・中島 正愛 (京都大学)
設置 WG (WG 名：目的)		
2009 年度予算	350,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s11/

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 55 回構造工学シンポジウム 参加者数 468 名 『構造工学論文集 Vol.55B』 『第 55 回構造工学シンポジウム』 ①特別講演会「社会・都市基盤の事故災害リスクの低減とモニタリング」 (参加者数 123 名) ②建築・土木合同パネルディスカッション「モニタリングが開く構造工学の可能性」 (参加者数 123 名)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. すべて滞りなく達成した。
委員会活動の問題点・課題	主催者である日本学術会議土木工学・建築学委員会ならびに共催の土木学会構造工学委員会・論文集編集小委員会と、論文集出版等の詳細について、今後とも十分な事前調整が必要。